

●インターンシップ推進による産業人材の育成 [幹事県 長崎県]

[目的]

経済活動が県域を越えて行われる中、九州各県の大学等で学ぶ大学生がインターンシップをする際、体験先を地元企業だけでなく九州広域で選択できる体制(=広域インターンシップ)を整備することにより、将来の九州地域を担う人材を九州各県が協力して育成し、産業振興を推進する。

[取組内容]

- (1) 各県のインターンシップ推進組織で開拓した受入企業リスト等の情報交換
- (2) 県外大学に在学する学生向けに県内企業でのインターンシップや県内企業在職者の県外企業での長期インターンシップの機会を提供

[主な取組状況(知事会議での報告状況等)]

- 平成18年6月 第127回九州地方知事会議
 - ・長崎県が「あり方研」へ提案、政策連合による取組開始を決定(幹事県：長崎県)
 - 平成18年10月 第128回九州地方知事会議
 - ・取組状況を報告(各県が開拓した受入可能事業所のリストを相互に交換し、大学等へ情報提供することについて合意、平成19年の夏休みに広域インターンシップを実施することを決定)
 - 平成19年5月 第129回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
 - 平成19年10月 第130回九州地方知事会議
 - ・取組状況を報告(平成19年4～7月に受け入れ企業のリストを相互に交換、8～9月にインターンシップを実施(7県・22事業所のインターンシップに14大学・22人が参加))
 - 平成20年5月 第131回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
 - 平成20年10月 第132回九州地方知事会議
 - ・取組の成果を報告(各県毎の推進体制と各県の連携体制を構築)
- ※以上の取組により所期の目的を達成

- 平成21年4月 各県担当者による実務連絡会議
 - ・以後は電子媒体により各県担当者との連絡調整を行い、事業を実施することで合意
 - 平成21年6月 第133回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
 - 平成21年10月 第134回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
 - 平成22年5月 第135回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
 - 平成22年10月 第136回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
- 平成22年11月 あり方研幹事会から活性化に向けた意見を通知
 - ・『利用状況調査等により、これまでの取組の検証を』

[成果]

延べ1,944名のインターンシップを実施

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	計
受入事業所	22	59	79	97	86	68	77	97	78	86	106	92	75	37	105(25)	47	56	1,267
参加大学	14	26	27	28	32	28	29	34	32	42	35	27	33	18	33(4)	31	36	505
参加者(人)	22	70	93	118	126	83	107	148	121	130	150	169	137	61	179(57)	105	125	1,944

※R3 () 内はコロナウイルス感染拡大の影響による中止

[現状・課題]

就職活動を前提としたインターンシップの実施が確立されてきており、九州各県の受入体制についても県が関与せずナビサイトなどを活用し、学生と企業が直接つながるケースが増えてきている。そのため他県学生の利用状況については実態として増えてきていると思われるものの、その実績を県が把握することは困難である。

広域インターンシップの推進について県が担うべき役割について改めて検討が必要であるとする。

[今後の取組]

連携体制を活用した情報の共有については継続するが、政策連合あり方見直しに併せ、発展的解消として廃止する。